

AO 入試の赤本

〈2020 年教育改革で変わる大学入試〉

改訂新版

小杉樹彦

AO・推薦入試専門塾 KOSSUN 教育ラボ 代表
上武大学 ビジネス情報学部 助教
学びエイド 鉄人講師

改訂新版の発行にあたって

本書は2020年教育改革を機会に日本の入試制度の主流となりつつあるAO入試について、受験生がその全体像を掴むことを目的として刊行されました。皆様の強い支持により、こうして改訂新版まで発行することができました。心から御礼を申し上げます。

AO入試は年々、難化傾向をたどっており、受験準備にあたっては決して一筋縄ではいきません。そこで、本書が悩める受験生、保護者の方に対して微力ながらお役に立てることを願っています。

エール出版社の編集担当の皆様にご改めて感謝致します。ありがとうございます。

2018年8月吉日

AO・推薦入試専門塾KOSSUN教育ラボ代表

上武大学ビジネス情報学部 助教

学びエイド 鉄人講師

小杉 樹彦

― 本書の特徴と使い方 ―

◆本書はAO入試を受験する前の「最初の一冊」として、基本的な考え方を身につけるための本である。「たった一つの正解」が示されているようなマニュアル本とは根本的に性質が違うことを理解してほしい。

◆本書はAO入試以外に、すべての推薦入試に対応している。さらに言えば、今後、就活や仕事、人間関係で問題を抱えた際にも大いに役立つ人生の参考書になり得るだろう。

◆本書では「受験後の姿勢」について丸々一章分を割いている。それは「入学すること」よりも「入学後の研究」に価値を置いているからである。この点は類書にはない特徴と言えるだろう。

◆受験準備を行う過程で、常に本書を手元に置いておいてほしい。行き詰まったり、迷ったりした時、本書のどこかに壁を乗り越えるためのヒントがあるはずだ。

◆掲載情報は出版当時のものである。本書の内容の正確性については万全を期しているが、受験の際には必ず直接、大学に問い合わせしてほしい。

・改訂新版の発行にあたって……………2

・本書の特徴と使い方……………3

第1章 「AO入試」の正体…9

・これまでと同じ受験勉強では通用しない。……………10

・AO入試は「お見合い」である。……………18

・一芸ではなく、「総合力」で勝負する。……………16

・合格は99%の「努力」と1%の「運」。……………19

・評価の比重は「過去へ未来」。……………22

・「自分の頭で考えて行動できる人」が求められる。……………25

・AO入試を安易な「逃げ」の選択肢にしない。……………28

・AO入試は「手段」の一つに過ぎない。……………31

・AO入試を自分の人生を整理する「きっかけ」にする。……………34

第2章 「自分探しの旅」はもうやめよう…41

・「細く長く」準備した者が勝つ。……………37

・自分は探すものではなく、「つくる」もの。……………42

・紙に書いて、毎日音読する。……………45

・周囲の人間を巻き込む。……………48

・「答え」を他人に求めない。……………51

・「やりたいことがない」は大ウソ。……………54

・長所と短所は、「表裏一体」。……………57

・塾に「丸投げ」しない。……………60

第3章 なぜ、その大学でなければならぬのか?…65

・「なぜ大学に進学するのか。」「を自問自答する。……………66

・行ける大学から「行きたい大学」へ。……………69

・勝ち組より「価値組」を目指す。……………72

- ・一戦必勝もいいが、「第一志望群」という考え方もある。 75
- ・「自分の足」を使って調べろ。 78
- ・「目的」と「手段」を混同しない。 81
- ・あなたが大学に提供できる「価値」を意識する。 84
- ・マナーとは、「相手を不快にさせない」こと。 87

第4章 志望理由書は書き方よりも「考え方」が大切：91

- ・志望理由書は大学への「ラブレター」である。 92
- ・「守・破・離」を極める。 95
- ・志望理由書を「人生の羅針盤」にする。 98
- ・夢よりも「志」が求められる。 101
- ・過去の活動は「点より線」が大事。 104
- ・「新規性」がなければ、優れた研究にはならない。 107
- ・「効率性」だけを追求してはいけない。 110
- ・「模写」こそ、文章上達の最短ルート。 118

第5章 大学面接の「当たり前」とは？：121

- ・「マイペースなハイペース」へ行く。 116
- ・大学面接は「受からせる」ための試験である。 122
- ・面接コミュニケーションの基本は「福利の法則」。 125
- ・「想定内」「想定外」の二種類の質問に対応する。 128
- ・面接官の「質問の意図」を汲む。 131
- ・自己アピールすべきは資格名よりも、努力の「過程」。 134
- ・大学面接はフロアから直接意見をもたえる貴重な場。 137
- ・プレゼンの主役はいつだって「相手」。 140
- ・シンプル・イズ・ベスト。 143
- ・「複数の選択肢」を用意するのも重要な危機管理。 146
- ・プレゼンは習うより「慣れよ」。 149
- ・「体調管理」も実力のうち。 152

第6章 勝ってカブトの緒を締めよ……157

- ・AO入試合格者としての「誇り」と「自覚」を持つこと。……………158
- ・合格を「ゴール」に設定することはひまない。……………161
- ・「受かる自信」なんてなくていい。……………164
- ・「入学前課題」を侮るなかれ。……………167
- ・「合格後」に志望理由書を書き直す。……………170
- ・AO入試で身につけたスキルを研鑽し続ける。……………173
- ・仲間への「感謝の気持ち」を忘れない。……………176

第7章 現役大学教授インタビュー……181

横浜国立大学 野口和彦教授 特別対談「大学が受験生に期待していること」

- ・KOSSUN教育ラボのご案内……………194

謝辞

いかがだったでしょうか？

この本では、AO入試を受けるにあたって身につけてほしい考え方から具体的な準備まで全般的に説明してきた。

この本が、微力ながら、あなたのお役に立てたならば、著者として望外の喜びである。

最後に、お世話になっている方々に、感謝の意を表したい。

いつも親身に私の博士論文をご指導くださり、さらに今回、インタビューまで快く引き受けてくださった横浜国立大学の野口和彦先生には大変感謝しています。本当にありがとうございます。

また、私を支えてくれている家族、切磋琢磨できる仲間にも、頭が上がりません。いつもありがとうございます。

そして、この度、本書を世に送り出す機会を与えてくださったエール出版社の編集部の方々には心から御礼申し上げます。

読者であるあなたに、次は直接会えることを楽しみにしている。

次はリアルで会おう！



2018年8月

AO・推薦入試専門塾 KOSUN教育ラボ代表
上武大学ビジネス情報学部助教
学びエイド 鉄人講師

小杉樹彦

AO入試の赤本

< 2020年教育改革で変わる大学入試 >

改訂新版

2017年2月5日 初版第1刷発行
2018年9月20日 改訂2版第1刷発行

*定価はカバーに表示してあります。

著者 小杉樹彦
編集人 清水智則
発行所 エール出版社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12
信愛ビル4F
e-mail : info@yell-books.com
電話 03(3291)0306
FAX 03(3291)0310
振替 00140 - 6 - 33914

© 禁無断転載
ISBN978-4-7539-3435-5

乱丁本・落丁本はおとりかえいたします。

◎著者略歴

小杉樹彦 Tatsuhiko Kosugi

AO・推薦入試専門塾 KOSSUN 教育ラボ 代表 上武大学 ビジネス情報学部 助教授
びエイド 鉄人講師



AO入試の専門家 / 教育評論家 1986年生まれ。東京都出身。慶應義塾大学大学院 修士課程修了後、一貫して教育業界に従事。延べ2,000人の受験生を指導。

NHK Eテレ『テストの花道 ニューベンゼミ』に出演し、独自の面接コミュニケーション・メソッド「福利の法則」を披露するなど人気を博す。現在は、大学で教鞭を執るかたわら、ベンチャー起業家として、AO・推薦入試専門塾 KOSSUN 教育ラボなど革新的な教育事業を運営している。

著書『AO・推薦入試の黄本』（新評論）、『もうひとつの大学入試 AO入試のバイブル AO本』（ごま書房新社 VM）他多数。

HP : <https://kosugitatsuhiko.com/>

Twitter : <https://twitter.com/tatsuhikokosugi>

Facebook : <https://www.facebook.com/tatsuhiko.kosugi.1>



AO・推薦入試専門塾 KOSSUN 教育ラボ

「生徒一人ひとりを大切に理想の塾を作りたい」との思いから、2012年に小杉樹彦の総合プロデュースで開設されたAO・推薦入試指導の専門塾。品川区御殿山に教室を構える。入試の枠組みにとどまらず、「人生をより良くすること」を指導のモットーとする。開設後、瞬刻に受験生、保護者の間に口コミが広がり、現在では国内外問わず、世界中から入塾希望が殺到している。遠方の受験生に対してはSkypeによる指導も行っているが、「直接指導を受けたい」と、飛行機で通塾する者がいるほどの熱狂的なファンを数多く抱える。「プロ講師」「定員制」「マンツーマン指導」を貫くことで、半年以上のキャンセル待ちが出るほどの「知る人ぞ知る」人気塾となっている。

HP : <http://www.kossun.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/kossun>

Facebook : <https://www.facebook.com/Kossun.Education.AO>